

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12 (10)	介護施設を含む福祉事業全般に、ICT化(情報通信技術の活用)が進んできている。苦手意識を払拭し、業務の効率化を推進することが求められる。	業務の効率化や情報管理について、一部でもICTの活用ができる。	施設規模からも、予算的に大掛かりなシステムを導入することは難しく、職員の年齢層も高いことから、普段使用しているスマートフォンの活用、業務管理を中心に検討していきたい。	6ヶ月
2	16 (12)	介護計画書第1表の「利用者、家族の意向」や「総合的な援助の方針」の中身が、毎回同じ内容で繰り返されている。介護計画の策定方針を再考されたい。	症状や生活が安定している利用者が多いが、現状維持を踏まえつつも、些細な変化や要望などを盛り込んだ計画策定に努める。	施設で安心して暮らしてたい(暮らしてほしい)というニーズは誰もが持っている認識したうえで、さらなる要望の掘り起こしに努めたい。モニタリングから変化の兆しを汲み取る視点を持つ。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。